

IMAGENICS

NEX-SMART Setting Tool

for NEX-SMART series

取扱説明書

本製品をご利用いただく前に、NEX-SMART シリーズ機器およびその他ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にご使用ください。

目次

| | | |
|-----|-------------------|----|
| 1 | はじめに | 2 |
| 1.1 | 運用方法 | 2 |
| 1.2 | 機能概要 | 2 |
| 1.3 | ソフトウェア使用許諾 | 2 |
| 2 | システム要件 | 3 |
| 2.1 | ハードウェア (PC) | 3 |
| 2.2 | オペレーティングシステム (OS) | 3 |
| 2.3 | 機器 | 3 |
| 3 | インストール | 4 |
| 3.1 | 準備 | 4 |
| 3.2 | インストール | 4 |
| 3.3 | アンインストール | 6 |
| 4 | 導入手順 | 6 |
| 4.1 | 準備 | 6 |
| 4.2 | 起動 | 8 |
| 4.3 | ファイアウォールの受信規則 | 9 |
| 5 | 画面と操作方法 | 11 |
| 5.1 | 起動とタイトル画面 | 11 |
| 5.2 | メイン画面 | 11 |
| 6 | [困ったときは] | 18 |

1 はじめに

本製品は、Windows PC（以下PC）にインストールして使用する、イメージニクス社製 NEX-SMART シリーズ機器の送信機（以下TX）、受信機（以下RX）の初期化および映像・音声の切り替えを行う簡易設定ソフトウェアです。

本製品をご利用の際は、NEX-SMART シリーズ機器の取扱説明書をお読みいただくようお願いいたします。運用上の制約事項や注意事項が記載されています。

1.1 運用方法

本製品は、システムのハードウェア構築後、初回の機器初期化、ネットワーク設定および映像・音声の割り当てを行うことを目的としております。そのため、常時起動して運用することを想定しておりません。

再度、映像・音声の割り当てを行う場合には、ソフトウェアの起動を行うようお願いいたします。何らかの理由でソフトウェアが正常に終了できなかった場合に正常に動作しない可能性があります。その場合には PC の再起動をお願いいたします。



ご注意

本製品は、NEX-SMART コントローラー NEX-CTR11 および NEX-SMART Configuration Tool と併用できません。

1.2 機能概要

- ルーティング
任意の TX の HDMI 入力映像を、任意の RX の HDMI 出力映像に切り替え出力することができます。
※映像はリサイズやフレームレート変換されません。
※分割映像表示やビデオウォール表示はできません。
※TX の音声入力端子の HDMI へのエンベデッドはできません
- TX の HDMI 入力音声を RX の HDMI 出力音声および音声出力端子に切り替え出力することができます。
※RX の HDMI 音声出力と音声出力端子の出力は同じ音声ストリームを分配します。
※HDMI 音声は、HDMI 映像出力がない場合には無信号となるため出力できません。
- TX の音声出力端子は、HDMI 入力された音声が入力された端子に出力されます。
- 映像・音声を連動させて切り替えることができます。
※映像と音声を個別に切り替えることもできます。
- TX の映像・音声出力を停止することができます。
※当該 TX の映像・音声を受信していた RX では、映像・音声出力が停止します。
- RX の映像・音声出力を停止することができます。
※当該 RX のみ出力が停止します。停止された場合、RX の HDMI 出力は無信号となります。
- 本ソフトウェアの起動時に、工場出荷設定の機器を自動的に初期化します。
- 各機器のネットワーク設定ができます。
- ネットワーク設定項目の Hostname を任意に指定することにより、機器の識別が容易になります。
- 同一ネットワーク上で複数の本ソフトを起動して同時制御を行うことはできません

1.3 ソフトウェア使用許諾

本ソフトウェアのご使用開始をもって、本ソフトウェアの使用許諾に同意していただいたとみなします。IMAGENICS 社ホームページのダウンロードページの本ソフトウェアページに「ソフトウェア使用許諾」を記載します。

URL : <http://www.imagenics.co.jp/download/>

2 システム要件

2.1 ハードウェア (PC)

| 項目 | 要件 | |
|--------------|------------------------------|---------------------------------|
| プロセッサ (CPU) | ベース動作周波数 | 1.1 ギガヘルツ (GHz) 以上 |
| | CPU コア数 | 2 以上 |
| | アーキテクチャ (ビット幅) | 64 ビット (x64) |
| | モデル ^{※1} | Intel® Core™ i3/i5/i7/i9 |
| | | Intel® Celeron® N |
| Intel® Xeon® | | |
| | AMD® Ryzen™, Athlon™, A シリーズ | |
| メモリ (RAM) | 4 GB 以上 (推奨 : 8 GB 以上) | |
| ストレージ容量 | 32 GB 以上 | |
| ディスプレイ | 解像度 | 1280×768 以上 (推奨 : 1980×1080 以上) |
| | タッチパネル式対応 | |

※1 本製品の動作確認した CPU と互換性のあるモデルを記載しております。本製品を導入される際には、事前に動作確認をお願いいたします。

2.2 オペレーティングシステム (OS)

| | |
|--------------|---|
| オペレーティングシステム | Microsoft®Windows® 10 Home/Professional 64bit 版 (Ver 1903 以降を推奨) ^{※2} |
| 追加の要件 | Windows7/8 等からの Upgrade 版の場合、動作が不安定になる可能性があります。 |

※2 本製品は、Windows 10 Home/Professional 64bit 版で動作が確認されています。他の OS 上での動作は保証いたしかねます。

2.3 機器

以下のイメージニクス社製品を対象とします。

NEX-01T/HC
 NEX-01R/HC
 NEX-01T/HS
 NEX-01R/HS
 NEX-01T/HM
 NEX-01R/HM

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Celeron、Xeon は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- AMD、Ryzen、Athlon、およびその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

3 インストール

3.1 準備

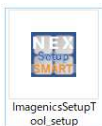
IMAGENICS 社ホームページのダウンロードページよりダウンロードしてください。

URL : <http://www.imagenics.co.jp/download/>

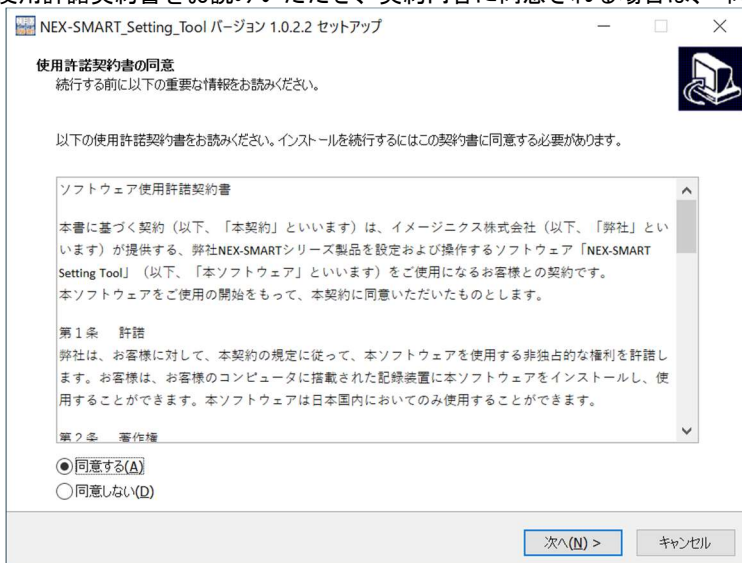
NEX-SMART 簡易設定ツール NEX-SMART Setting Tool

3.2 インストール

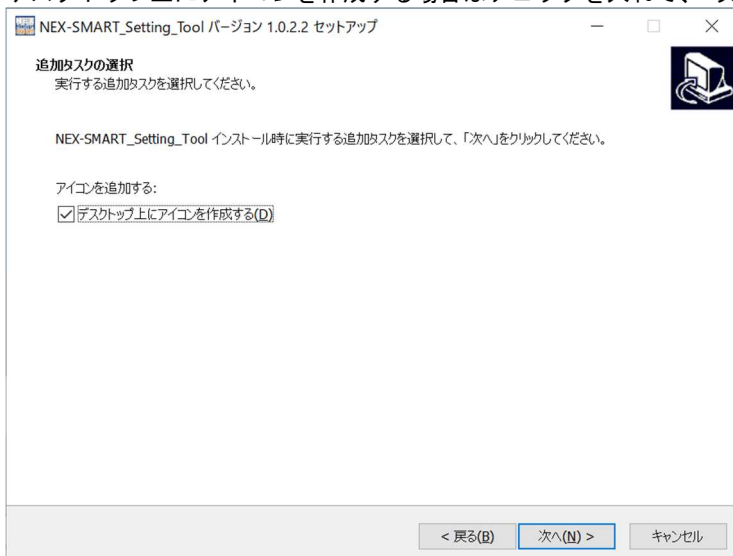
1. ダウンロードしたインストール実行ファイル NEX-SMART_Setting_Tool_setup.exe をダブルクリックして実行します。



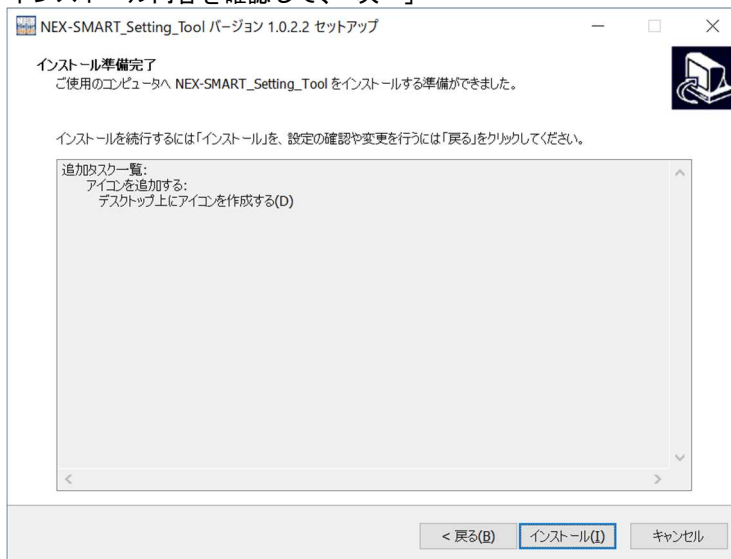
2. 使用許諾契約書をお読みいただき、契約内容に同意される場合は、「同意する」を選択して「次へ」



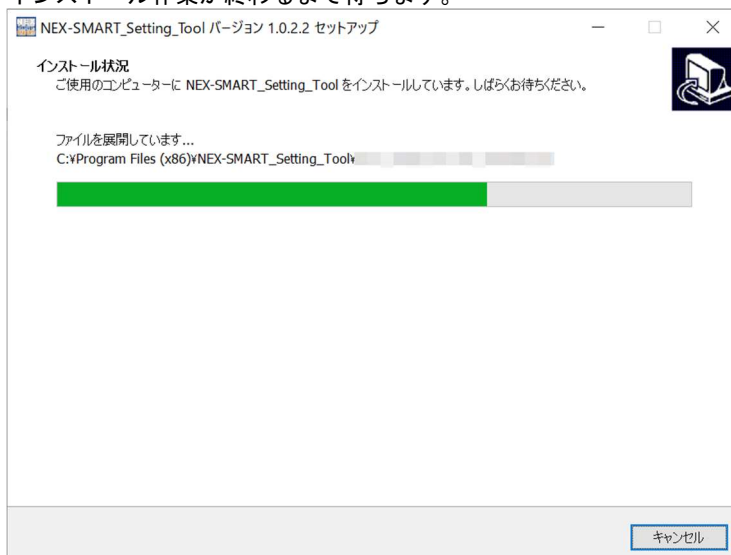
3. デスクトップ上にアイコンを作成する場合はチェックを入れて、「次へ」



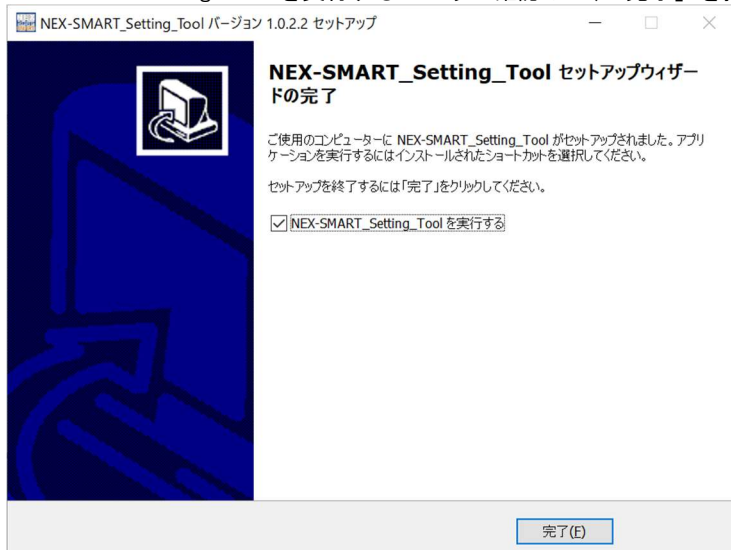
4. インストール内容を確認して、「次へ」



5. インストール作業が終わるまで待ちます。



6. NEX-SMART Setting Tool を実行するかどうか確認して、「完了」を押して終了です。



3.3 アンインストール

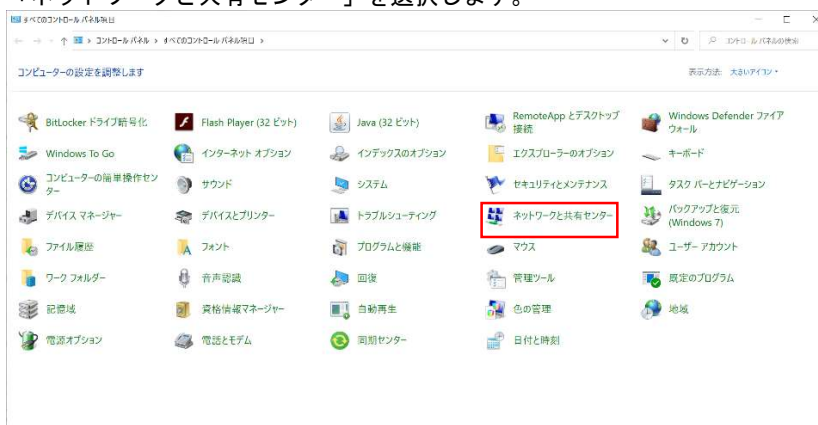
1. Windows のコントロールパネル (【スタート】 → 【Windows システムツール】 → 【コントロールパネル】) を開きます。
2. 「プログラムと機能」を選択します。
※表示方法がカテゴリの場合、「プログラムのアンインストール」を選択します。
3. 「プログラムのアンインストールまたは変更」の一覧リストから「NEX-SMART_Setting_Tool」を選択します。
4. ダブルクリックもしくは上部にある「アンインストール」を押します。
5. ダイアログの指示に従い進めてください。アンインストールが完了します。

4 導入手順

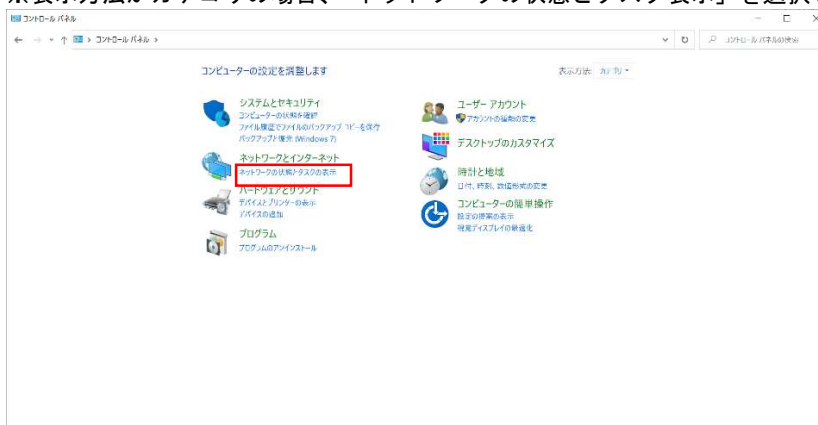
4.1 準備

1. TX/RX 本体に記載されており MAC アドレス 00 : 03 : 30 : XX:XX:XX を機器配置と照合できるようにリストアップしておいてください。
2. 機器の配線接続確認および電源投入を行ってください。
3. PC のセットアップを行います。

- ① Windows のコントロールパネル (【スタート】 → 【Windows システムツール】 → 【コントロールパネル】) を開きます。
- ② 「ネットワークと共有センター」を選択します。



※表示方法がカテゴリの場合、「ネットワークの状態とタスク表示」を選択します。



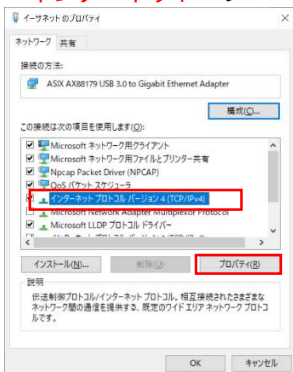
- ③ 「アクティブなネットワークの表示」の中から、対象となるネットワークの接続にあるネットワーク名を選択します。
※PC のデフォルトでは「イーサネット」という表示名になります。



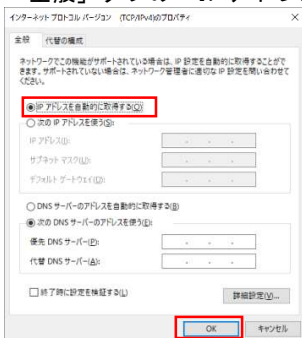
- ④ 「プロパティ」を選択します。
「イーサネットのプロパティ」ダイアログが開きます。



- ⑤ 一覧の中から「インターネット プロパティ バージョン 4 (TCP/IP v4)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
「インターネット プロパティ バージョン 4 (TCP/IP v4) のプロパティ」ダイアログが開きます。



- ⑥ 「全般」タブの「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、「OK」を押します。




- ⑦ これまでに開いたダイアログやフォルダを閉じます。

4. PC をシステムに接続してください。

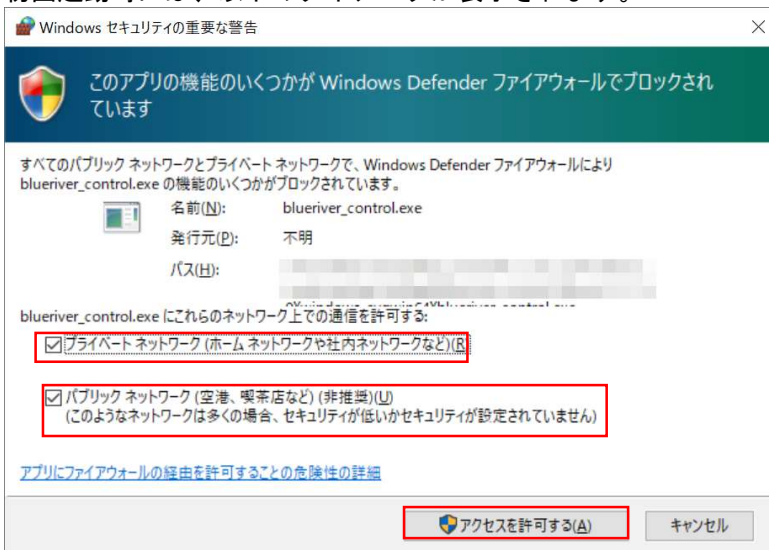
4.2 起動

1. NEX-SMART Setting Tool を起動します。



| | |
|--|--|
|  ご注意 | 本ソフトウェアは、重複起動の制限をしておりません。しかし、重複起動をすると思わぬ動作となる場合があります。タスクバーなどに本ソフトウェアが起動していないことを確認の上、起動をしてください。 |
|--|--|

2. 初回起動時には、以下のダイアログが表示されます。




本ソフトウェアで使用する TCP/UDP ポートについて、「Windows Defender ファイアウォール」の受信規則で許可します。(お使いの PC によっては、サードパーティベンダーにより「Windows Defender ファイアウォール」以外のファイアウォール等を使用している場合があります。お使いの環境に合わせて設定してください。)


「プライベートネットワーク (ホームネットワークや社内ネットワークなど)」

「パブリックネットワーク (空港、喫茶店など) (非推奨)」

の両方にチェックを入れて

「アクセスを許可する」を押して下さい。

| | |
|--|--|
|  ご注意 | 正しく機器が検知できない場合、「Windows Defender ファイアウォール」でブロックされている可能性があります。アプリケーションを終了し、「Windows Defender ファイアウォール」でブロックを解除してから、もう一度試してください。 |
|--|--|

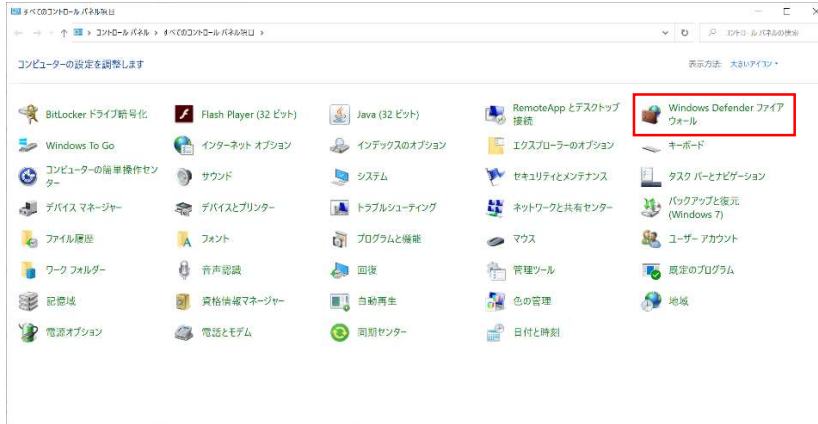
| | |
|--|---|
|  ご注意 | 本ソフトウェアは、専用ネットワークを用いて、外部ネットワークとは通信しないことを前提としております。一時的に設定に用いる PC が外部ネットワークで使用される場合、「Windows Defender ファイアウォール」で受信規則を見直してください。個々の環境に依存するため、ネットワーク管理者とご相談ください。 |
|--|---|

3. タイトル画面において、機器の検知・初期化・デバイス情報の読み取りを行います。
4. メイン画面にて機器がリスト表示されます。
5. 必要に応じて、TX/RX の映像・音声切替え、およびネットワークの設定を行います。
※機器のネットワーク設定を変更した場合、ネットワークセグメントに応じて PC の設定も変更する必要があります。
6. アプリケーションを終了します。

4.3 ファイアウォールの受信規則

4.3.1 ブロックおよび許可の解除

1. Windows のコントロールパネル (【スタート】 → 【Windows システムツール】 → 【コントロールパネル】) を開きます。
2. 「Windows Defender ファイアウォール」を選択します。

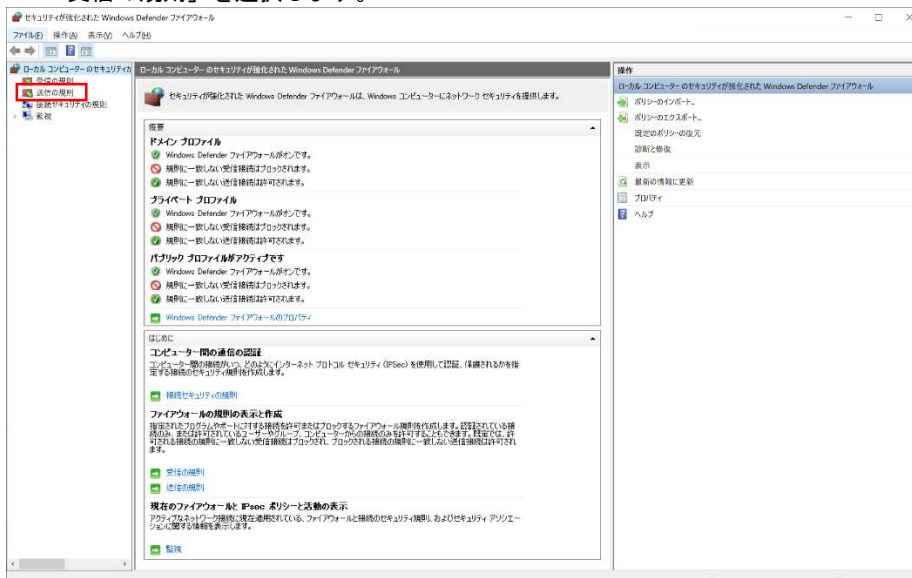


※表示方法を「大きいアイコン」あるいは「小さいアイコン」にしてください。

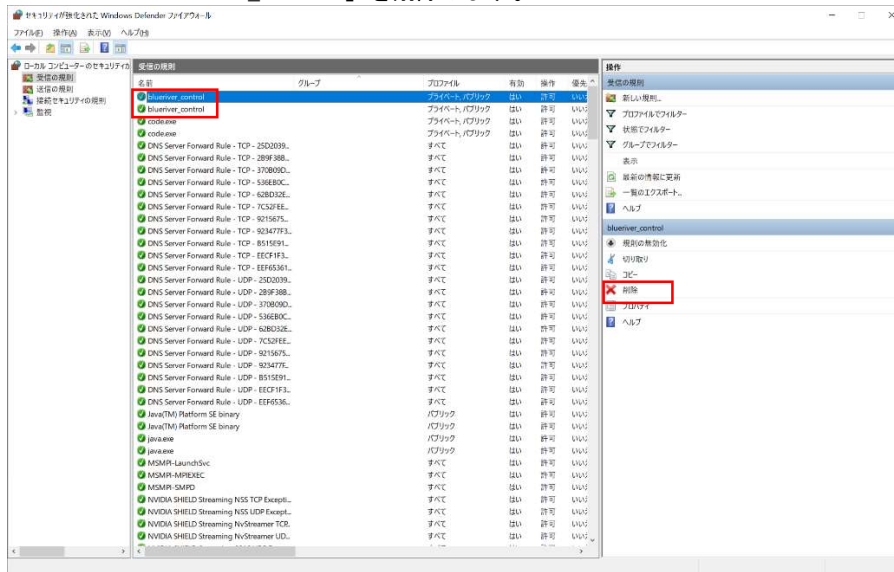
3. サイドメニューにある「詳細設定」を選択します。



4. 「受信の規則」を選択します。



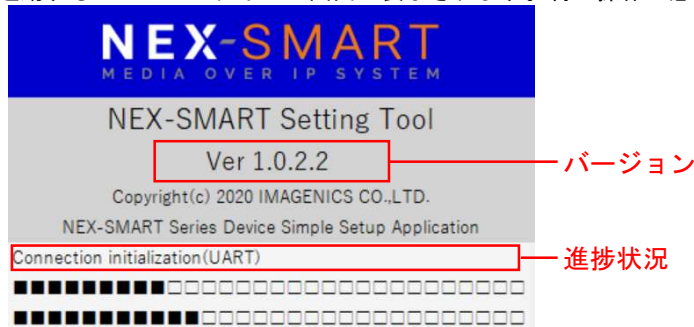
5. 全ての「blueriver_control」を削除します。



5 画面と操作方法

5.1 起動とタイトル画面

起動するとはじめにタイトル画面が表示されます。特に操作は必要ありません。



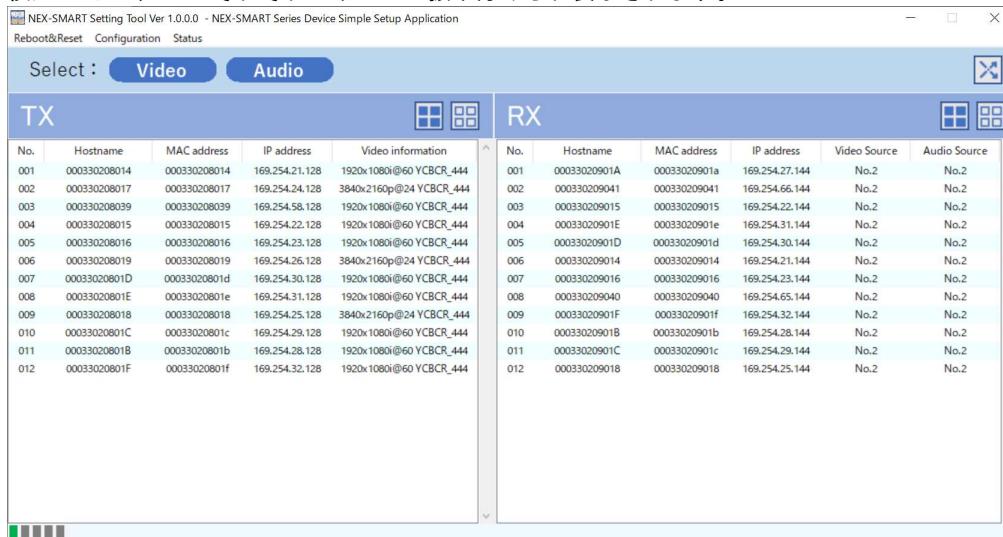
タイトル画面では以下の処理が実施されます。これらの処理は、メイン画面で新しいデバイスが発見されたときも同じ処理が実施されます。そのため、初期化処理のためにタイトル画面からやり直す必要はありません。

- デバイスの検知
- デバイス情報の取得
- デバイスの初期化

5.2 メイン画面

タイトル画面からメイン画面に移行します。

検知した TX、RX がそれぞれのリストに振り分けられ表示されます。



リストは発見順となっており、起動するたびに変わる場合があります。

1) TX の表示項目

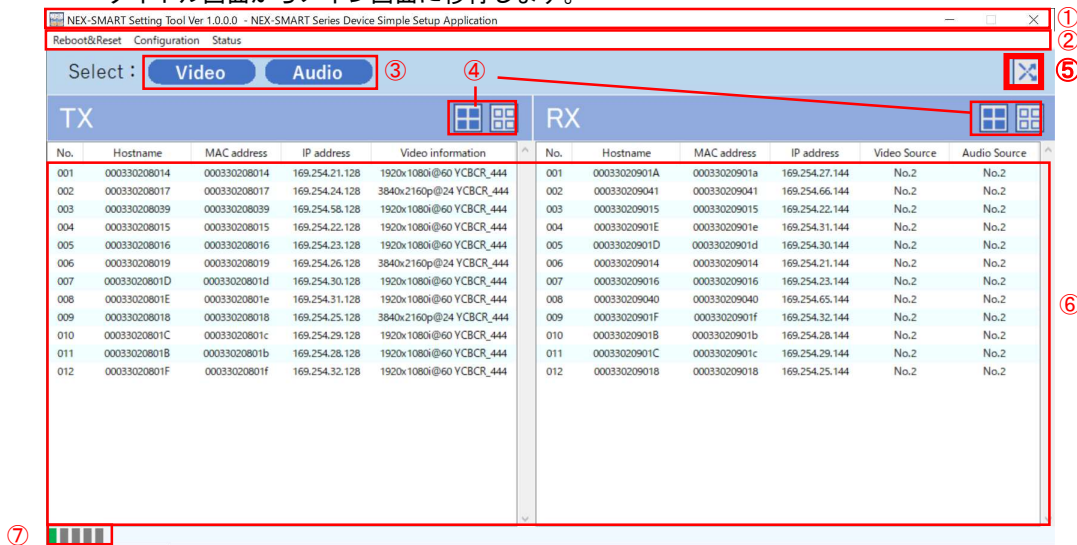
| | |
|-------------------|--|
| Hostname | ネットワーク上のユニークな名称をつけることができます。初期値は MAC アドレスと同じです。 |
| MAC アドレス | 機器固有のアドレスです。各機器に明記されています。機器の判別に利用します。 |
| IP アドレス | 自動的あるいは任意に割り当てられた IPv4 アドレスです。 |
| Video Information | 入力映像の解像度、走査方法、フレームレート、カラースペースを表示します。 |


2) RX の表示項目

| | |
|--------------|---|
| Hostname | ネットワーク上のユニークな名称をつけることができます。初期値は MAC アドレスと同じです。 |
| MAC アドレス | 機器固有のアドレスです。各機器に明記されています。機器の判別に利用します。 |
| IP アドレス | 自動的あるいは任意に割り当てられた IPv4 アドレスです。 |
| Video Source | 受信している映像の配信元 TX の番号を表示します。何も受信していない場合には空欄となります。 |
| Audio Source | 受信している音声の配信元 TX の番号を表示します。何も受信していない場合には空欄となります。 |

5.2.1 画面の構成

タイトル画面からメイン画面に移行します。

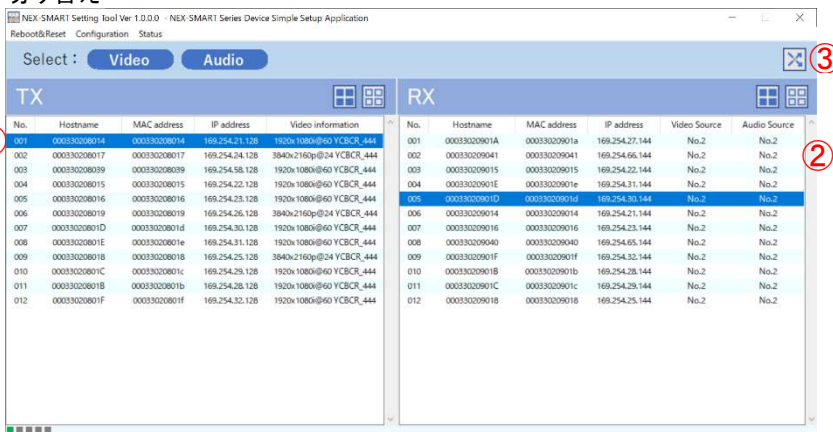


| | 項目 | 説明 | ポップアップ表示 |
|---|------------|--|--------------------------------------|
| ① | タイトルバー | ソフト名とバージョンが表示されます。アプリケーションを終了するには、閉じるボタンを押します。 | — |
| ② | メニューバー | 再起動/工場出荷設定リセット、初期化处理、ネットワーク設定、機器情報表示、機器情報出力の操作メニューです。 | — |
| ③ | 切替対象選択ボタン | 映像 (Video)、音声 (Audio) の切り替え対象を選択します。両方無効にはできません。  左図は映像のみ切り替え対象とした場合 | 切替対象 : Video 切替対象 : Audio |
| ④ | 全選択/全解除ボタン | TX および RX のリストそれぞれで、機器の全選択あるいは全解除を行います。 | TX 全選択 TX 全解除 RX 全選択 RX 全解除 |
| ⑤ | 切替実行ボタン | 切替対象および機器リストの選択状態に応じて、RX に割り当てる映像・音声を切り替えます。 | 切替実行 |
| ⑥ | 機器リスト | 発見された順に番号が振られリスト表示されます。表の各項目でソートすることができます。項目を押すたびに昇順/降順ソートが切り替わります。 | — |
| ⑦ | 動作インジケータ | 一番左のインジケータは周期的に点滅します。この点滅が不規則の場合には処理が重くなっています。この点滅が停止した場合にはソフトウェアが停止しています。(動作停止) | — |

画面上のボタンにマウスカーソルをおいて、1秒程度するとポップアップ表示により説明が表示されます。マウスカーソルが外れるとポップアップ表示が消えます。

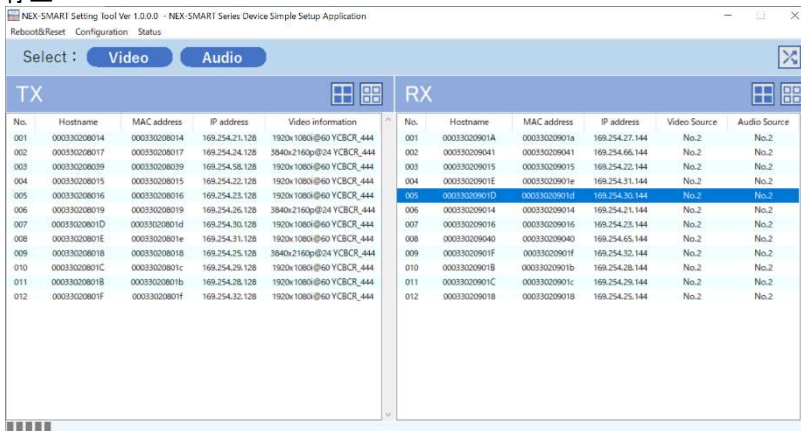
5.2.2 映像・音声の切替/停止

(1) 切り替え



- ① TX リストの行をひとつクリックします。選択状態となります。
- ② RX リストの行をひとつクリックします。選択状態となります。
- ③ 切り替え実行ボタンを押します。
- ④ 映像・音声切り替わり、RX リストの Video Source および Audio Source が変更されます。
 ※切り替え対象が Video のみの場合は、映像のみ切り替わり、Video Source が変更されます。
 ※切り替え対象が Audio のみの場合は、音声のみ切り替わり、Audio Source が変更されます。
 ※TX が複数選択されていた場合、No が一番若い TX が対象となります。
 ※RX が複数選択されていた場合、一括して切り替わります。
 ※次に説明する「停止」によって、送信/受信が停止されていた場合は、自動的に送信/受信状態となります。

(2) 停止



- ① 対象とする TX あるいは RX のみ選択します。
- ② 画面例では RX のみ選択して、TX は全解除ボタンで非選択状態とします。
- ③ 切り替え実行ボタンを押します。
- ④ 配信あるいは受信が停止され、対象の VideoSource、AudioSource 欄が空白になります。
 ※切り替え対象が Video のみの場合は、映像のみ停止します。
 ※切り替え対象が Audio のみの場合は、音声のみ停止します。

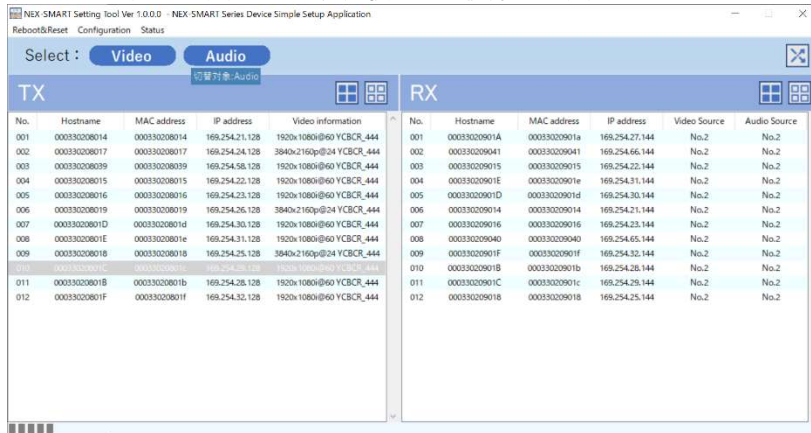
ご注意

TX の停止動作にかかわらず、RX の受信状態がキャンセルされません。このため、TX 停止前にその TX から映像・音声を受信している RX がある場合、TX 配信再開時に停止前に受信していた RX 全てに映像・音声が送出されます。

例えば、No. 1 の TX の映像を No. 1~4 の RX が受信していた場合、No. 1 の TX を停止すると No. 1~4 の RX の映像は停止します。その後、No. 1 の TX を No. 5 の RX に割り当て（切り替え）した場合、No. 1~4 の RX にも映像が送出されます。

5.2.3 機器の喪失

何らかの理由で機器が検知できなくなると、対象機器が灰色にハッチされ選択解除となります。復帰すると元に戻ります。ただし非選択状態で復帰します。



5.2.4 機器の発見

メイン画面の状態で新しく機器が発見されると（喪失状態からの復帰も同様）、以下の処理を自動的に実施します。

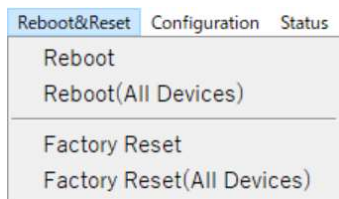
- デバイスの検知
- デバイス情報の取得
- デバイスの初期化

5.2.5 メニュー操作

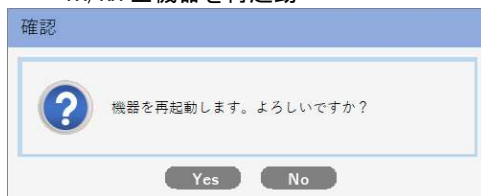
メニューバーの操作は以下の3つの親メニューから選択します。

| | |
|---------------|-----------------|
| Reboot&Reset | 機器の再起動/工場出荷リセット |
| Configuration | 機器の初期化/ネットワーク設定 |
| Status | 機器情報の表示/Export |

5.2.5.1 Reboot&Reset



- (1) Reboot（再起動）
二種類の方法があります。
- ・ 選択した機器のみを再起動
 - ・ TX/RX 全機器を再起動

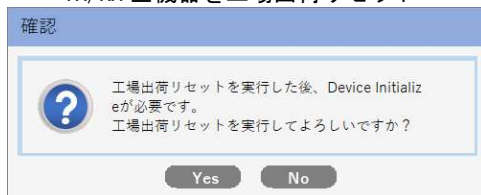


確認ダイアログが表示され「Yes」を選択すると、再起動が実行されます。再起動前の送信/受信状態に復帰します。再起動にともない、リスト上で選択状態が解除されます。

(2) Factory Reset(工場出荷リセット)

二種類の方法があります。

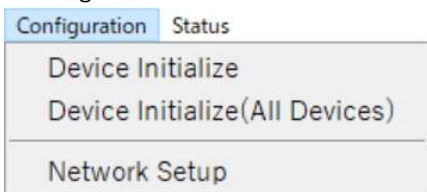
- ・ 選択した機器のみを工場出荷リセット
- ・ TX/RX 全機器を工場出荷リセット



確認ダイアログが表示され「Yes」を選択すると、工場出荷リセットが実行されます。初期化処理を実施しないと正常に動作できません。

メニューの Configuration から Device Initialize を選択して実行してください。

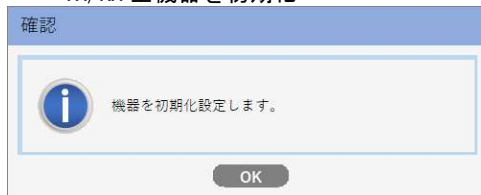
5.2.5.2 Configuration



(1) Device Initialize (機器の初期化)

二種類の方法があります。

- ・ 選択した機器のみを初期化
- ・ TX/RX 全機器を初期化



確認ダイアログが表示され「OK」を押すと、初期化が実行されます。

初期化処理は、すでに設定済みの機器/項目はスキップされるので、正常動作中の機器に影響はありません。

(2) Network Setup

機器を単一選択状態としてください。(TX/RX のリスト上、一つの機器のみ選択状態とします。)

上記の設定ダイアログが表示されます。

① HostName

入力文字制約事項

- ・半角の英大文字・小文字、数字、記号 (! ?" # \$ % & ' () [] { } * + - / = < > . : ; _ ¥ @ ^ ` | ~)
- ・半角 19 文字以内

ソフトウェア起動時の機器リストは発見順に並ぶため、毎回並び順が変わる可能性があります。

HostName を利用して識別しやすい名称としてください。

② Mode

<DHCP モード時>

ネットワーク内に DHCP サーバーが存在すれば、DHCP サーバーからの IP アドレスを付与してもらいます。DHCP サーバーがなければ、リンクローカルアドレスを用いた AutoIP により自己解決して動作します。

<MANUAL モード時>

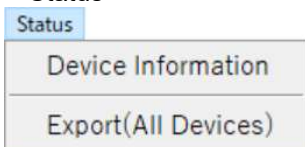
IP Address および Gateway には、SubnetMask で定義したネットワークセグメントに従い、有効な IP アドレス体系を設定して下さい。

IP Address および Gateway は、以下のアドレスに相当するとエラーとなります。

- ・ネットワークアドレス
- ・ブロードキャストアドレス
- ・リンクローカルアドレス
- ・マルチキャストアドレス
- ・グローバルアドレス
- ・予約アドレス
- ・ループバックアドレス

Gateway に空欄もしくは 0.0.0.0 は認められません。

Status



(1) Device Information (機器の情報)

ファームウェアのバージョンなどの機器情報を表示します。
 機器リストの選択状態に合わせて、共通するパラメータを表示し、共通しないパラメータは…で表示されます。



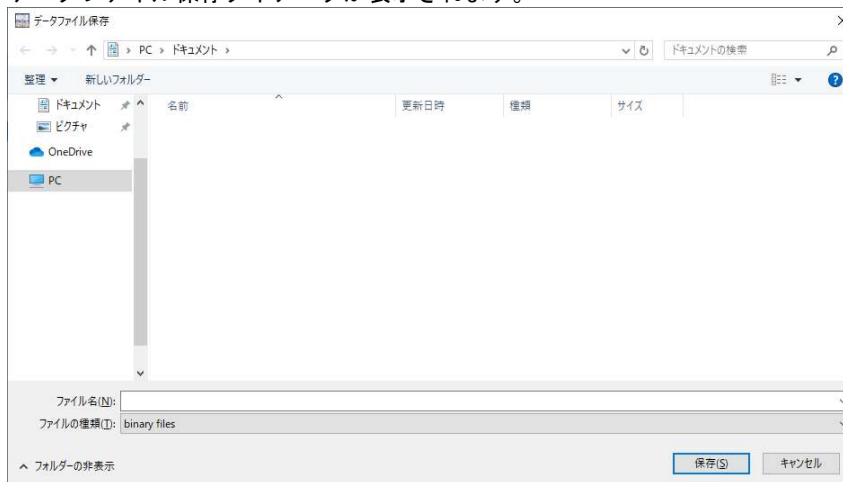
単一選択時



複数選択時

(2) Export(All Devices)

デバイス情報をファイルに出力します。
 不具合等の問い合わせ時にご提示ください。
 データファイル保存ダイアログが表示されます。



データファイル保存ダイアログで任意のフォルダに任意の名前で保存します。拡張子.nexdataとなります。

6 [困ったときは]

| ソフトウェアが起動しない | |
|-------------------------|--|
| ソフトウェアを探索する動作になる。 | ① ソフトウェアをアンインストールしてください。「3.3 アンインストール 準備 (P. 6)」 ② ソフトウェアをダウンロードして下さい。「3.1 準備 (P. 4)」 ③ インストールを行ってください。「3.2 インストール (P. 4)」 |
| スタートメニューにソフトウェアが見つからない。 | ① ソフトウェアをダウンロードして下さい。「3.1 準備 (P. 4)」 ② インストールを行ってください。「3.2 インストール (P. 4)」 |

| 機器が検知できない | |
|---------------|---|
| 一部の機器だけ検知できない | ・機器が起動していますか。LED 状態を確認してください。「各機器の取扱説明書を参照ください。」 ・機器の接続は正しいですか。ネットワークスイッチのリンクランプなども確認してください。 ・機器のネットワーク設定が PC のセグメントと同じですか。 ・機器のネットワーク体系が不明の場合、機器を工場出荷リセットしてください。「各機器の取扱説明書を参照ください。」 |
| ネットワーク設定の違い | ・PC のネットワーク設定は正しいですか。機器とネットワークセグメントが同一である必要があります。 ・機器のネットワーク体系が不明の場合、機器を工場出荷リセットしてください。「各機器の取扱説明書を参照ください。」 |
| 受信規則 | ・ファイアウォールなどの受信規則でブロックされていませんか。「4.3.1 ブロックおよび許可の解除 (P. 9)」 |
| 機器の接続 | ・機器が起動していますか。LED 状態を確認してください。「各機器の取扱説明書を参照ください。」 ・機器の接続は正しいですか。ネットワークスイッチのリンクランプなども確認してください。 |
| その他 | ・ソフトウェアを終了し、再度起動してください。 ・ソフトウェアの再起動で解決しない場合には、PC の再起動をしてください。 |

| 機器が喪失状態から復帰しない | |
|----------------|---|
| 機器の接続 | ・機器が起動していますか。LED 状態を確認してください。「各機器の取扱説明書を参照ください。」 ・機器の接続は正しいですか。ネットワークスイッチのリンクランプなども確認してください。 |
| その他 | ・ソフトウェアを終了し、再度起動してください。 ・ソフトウェアの再起動で解決しない場合には、PC の再起動をしてください。 |

Copyright 2021 イメージニクス株式会社 All rights reserved.

1. 本機は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、当社営業窓口までご相談ください。
2. 本ソフトウェアの著作権は、イメージニクス株式会社が保有します。
3. 本ソフトウェアの使用により、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因により利用の機会を逸したために生じた損害などの付随的損失の補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
4. 本書および本ソフトウェアは改良のため、将来予告なく変更することがあります。
5. 本書の著作権はイメージニクス株式会社に帰属します。本書の一部または全部をイメージニクス株式会社から事前に許諾を得ることなく転載することはお断り申し上げます。
6. 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが一誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら当社営業窓口までご連絡ください。
7. 本ソフトウェアに対して、リバースエンジニアリング等の手法によって内部を解析し利用することはお断り申し上げます。

本製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

製造元

イメージニクス株式会社

製品に関するお問い合わせは下記サポートダイヤルにて承ります。

フリーダイヤル(全国共通) 0120 - 480 - 980

東日本サポートダイヤル TEL 03 - 3464 - 1418

西日本サポートダイヤル TEL 06 - 6358 - 1712

東京営業所 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-16-7 ハイウェービル 6F TEL 03 - 3464 - 1401

大阪営業所 〒534-0025 大阪市都島区片町 2-2-48 JEI 京橋ビル 3F TEL 06 - 6354 - 9599

福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 1-18-25 第5博多借成ビル 3F TEL 092 - 483 - 4011

本社 〒182-0022 東京都調布市国領町 1-31-5

URL <http://www.imagenics.co.jp/>